

コース 46 やひこやま 弥彦山新年登山

リーダー CL K/T

実施日 平成23年1月8日(土) 天候 小雪

参加者 19(男性 6 女性 13)

グレード B上

コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
新津駅		7:58	荻川・さつき野・古津駅から計6人
弥彦駅	9:19		杉山店に立寄り、荷物を置かせて貰う
弥彦神社本殿前		9:53	大型3台の大参拝団に会う
登山口・鳥居		10:00	1合目・2合目の中間辺りから圧雪状態
里見の松・展望所	11:03	11:05	小雪模様とガスで視界全く利かず
山頂・奥の院	11:37	11:47	寒さで、参拝と撮影そこそこ、下山開始
里見の松・展望所	12:15	12:16	昨年、枯れて倒れた松が痛々しい
登山口・鳥居		12:55	適度に踏み固められた雪道を一気に下山
杉山土産物店	13:05	14:35	例により、ごちそうが右から左から忙しい
弥彦駅		15:15	お目当て土産物など買いながら電車へ
新津駅	16:28		全員無事帰着

山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 新年登山は、平成11年1月の初回、国上山で始め、翌年から弥彦山に切り替えて、今回で13回目となった。都合、12回にわたって、弥彦山と杉山店のセットで続いてきたことになる。その間、山と杉山店、それに参加してくれた山の友の皆さんに感謝です。
- ・ “雪が適当にあって、遠望の利く晴れ”が最高なのだが、この13回を通してそのような日は数えるほどしかなかった。しかし、「弥彦山新年登山」は、それ自体に意義があり、又、9合目までは北西の季節風を受けないので、ほぼ安心して山行が実施出来る山でもある。
- ・ 今回は直前の降雪で、珍しく5合目からの尾根コースが通行止め(普通は逆)だったが、適度な寒気で、登り、降り共、大変歩き易い状態だった。雪の(冬の)弥彦登山は初めてという人が数人居たが、見たところ元気に、それなりに楽しんだようだった。なお、ラストをして戴いたE/S,N/Sの両氏に御礼申し上げたい。
- ・ 来年も元気に弥彦山新年登山に参加しましょう。



「弥彦山新年登山に参加して」

(1475) A/W

遠くから見る弥彦山は、もうすっかり白くなっている。やはり冬山登山なんだと思うと、冬山の知識も、装備も無い私は、気後れしていたが、行ってみたいという気持ちが強くて、皆さんから教えてもらおうと、いさんで参加した。アイゼンだけは、昨年購入してまだ使わず持っていた。

当日の天気は寒さがゆるみ、雨の予報だったが、チラチラと降り始め、すぐに、本格的にボサボサと降ってきた。皆は余裕の様子で、雪など意に介せず楽しそう。観光客も多く、さすが、新年の弥彦神社である。

通常の奥の院への登山道へ行き、杉の木は、雪をかぶって、秋とは様子が違う。一合目を過ぎたあたりで、リーダーから、アイゼンの使用はどうかと言われ、皆を待たせて、慣れない手つきと、手伝ってもらって、アイゼンをやっと履いた。

登山道は凍ってはいないが、新雪がどんどん積もってくる。周りは雪で足元ばかり見て歩いているので景色もなにもない。雪崩の危険箇所では、リーダーから「各人が注意して」と言われ、上をみあげた。大きな雪の塊ではないのでまだよさそう。

気の抜けるほど、思いがけず九合目の稜線に出た。秋には、参拝者であふれていた、階段は雪にうずもれていたがまだまだ今年は少なく、七メートルにもなり、指標が埋もれてしまうと聞いた。

奥の院での休憩はお参りをしたり、兎の菓子をいただいたり、写真をとったりしたが、急に冷えてきてじっとしてられない。まだ体力もあり、休まずに下山できるが、歩けないほど疲れていれば、大事故になり、おととしのトムラウシでの事故が他人事ではなくなると思った。登りは汗が出るほどだったが、下りでは歩き続けても寒いほど。

アイゼンは下りでありがたさが解ると言われたが、そのとおりで、下りの苦手な私でも、足元が滑らず、楽勝。その分重いので、注意は必要。リーダーから歩き方から、履く時、脱ぐ時

を教えてもらったので、快適に、安全にできたのだが、教えてくれる人がいなければ、宝も持ち腐れで使う時などないかもしれない。

門前の杉山店で、迎えられて、二階でおでんと各自のお弁当でささやかな宴会が始まった。冬山での経験の達成感と、無事戻ったという安堵感で、宴会は盛り上がり、楽しかった。

皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

